

平成30年(ワ)第44号 損害賠償請求事件

原告 長沢 伸子 ほか181名

被告 国 ほか1名

答 弁 書

平成30年5月18日

福島地方裁判所第一民事部 御中

被告国指定代理人

〒980-8601 仙台市青葉区春日町7番25号

仙台第3法務総合庁舎

仙台法務局訟務部

部 付 佐藤 真梨子



部 付 筒井 督雄



部 付 吉野 弘子



上席訟務官 小野寺 幸男



訟務官 板橋 三智代



訟務官 大江 啓一



訟務官 齋藤 功



〒960-0103 福島市本内字南長割1番地3

福島地方法務局訟務部門(送達場所)

(電話 024-534-1976)

(FAX 024-526-2122)

上席訟務官 泉 利夫



上席訟務官 古山 繁樹



訟務官 野崎 佳之



訟務官 酒井 直仁



法務事務官 石澤 広隆



法務事務官 安斎 守



〒106-8450 東京都港区六本木一丁目9番9号

原子力規制委員会原子力規制庁

長官官房

環境事務官 内藤 晋太郎



環境事務官 高橋 正史



環境事務官 小川 哲兵



環境事務官 武田 龍夫



環境事務官 田中 博史













環境事務官 前田 后穂










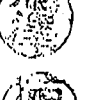




環境事務官	森川久範	
環境事務官	内山則之	
環境技官	中野浩	
環境事務官	世良田鎮	
環境事務官	豊島広史	
環境技官	谷川泰淳	
環境事務官	岩佐一志	

原子力規制委員会原子力規制庁

原子力規制部

環境技官	小野祐二	
環境技官	小山田巧	
環境技官	川崎憲二	
環境技官	中川淳	
環境技官	止野友博	
環境技官	御器谷俊之	
環境技官	片野孝幸	
環境技官	木原昌二	
環境技官	岡本肇	
環境技官	建部恭成	

環	境	技	官	小	林	貴	明	
環	境	技	官	柏	木	智	仁	
環	境	技	官	村	上		玄	
環	境	技	官	秋	本	泰	秀	
環	境	技	官	照	井	裕	之	
環	境	技	官	正	岡	秀	章	
環	境	技	官	義	崎		健	
環	境	技	官	田	尻	知	之	
環	境	技	官	宮	本	健	治	
環	境	技	官	角	谷	愉	貴	
環	境	技	官	伊	藤	岳	広	
環	境	技	官	大	塚	恭	弘	
環	境	技	官	西	崎	崇	徳	
環	境	技	官	山	田	創	平	
環	境	技	官	大	浅田		薫	
環	境	技	官	岩	田	順	一	
環	境	技	官	岩	崎	拓	弥	
環	境	技	官	安	達	泰	之	

環境技官 森野 央士



〒100-8931 東京都千代田区霞が関一丁目3番1号

経済産業省資源エネルギー庁

電力・ガス事業部政策課

経済産業事務官 高城 潤



経済産業事務官 河田 裕介



経済産業事務官 浅海 凧音



経済産業事務官 吉永 航



経済産業事務官 杉原 裕子



経済産業事務官 吉倉 宏明



電力・ガス事業部政策課電力産業・市場室

経済産業事務官 清水 行生



経済産業省資源エネルギー庁

電力・ガス事業部政策課電力市場整備室

経済産業事務官 高野 菊雄



経済産業省資源エネルギー庁

電力・ガス事業部原子力政策課

経済産業技官 山瀬 大悟



経済産業事務官 森本 卓也



経済産業省資源エネルギー庁

電力・ガス事業部原子力立地・

核燃料サイクル産業課

経済産業事務官 水越 貴紀



経済産業省資源エネルギー庁

電力・ガス事業部原子力立地・

核燃料サイクル産業課原子力損害対応室

経済産業事務官 宇田川 徹



経済産業事務官 和田 啓之



経済産業事務官 林 直紀



〒980-0014 仙台市青葉区本町三丁目3番1号

経済産業省東北経済産業局

資源エネルギー環境部資源エネルギー環境課

経済産業技官 黒瀬 芳紀



経済産業事務官 谷 尻 智恵子



経済産業技官 大場 朝明



同課総合エネルギー広報室

経済産業事務官 玉上 由紀子



第1 請求の趣旨に対する答弁

- 1 原告らの被告国に対する請求をいずれも棄却する。
- 2 訴訟費用のうち、原告らと被告国との間に生じた部分は原告らの負担とする。

- 3 被告国につき仮執行の宣言は相当でないが、仮にこれを付する場合には、
- (1) 担保を条件とする仮執行免脱宣言
 - (2) その執行開始時期を判決が被告国に送達された後14日経過した時とすること
- を求める。

第2 請求の原因に対する認否

本件の請求の原因のうち、被告国に損害賠償責任がある旨の主張は争い、本件の個別の原告らに生じた事情の有無及び内容は不知。

その余は、御庁平成28年(ワ)第280号原状回復等請求事件の請求の原因と共通であるため(ただし、同事件の請求の趣旨第1項に係る部分を除く。)、本件が同事件に併合されることを前提として、同事件に係る被告国の答弁書における認否を援用する。

第3 被告国の主張

本件が上記原状回復等請求事件に併合されることを前提として、同事件における被告国の主張を援用する。

以上

附 属 書 類

指定書

5通